

ナースインひまわり

症 例 概 要 利用者：90歳代 女性 要介護 5

利用期間：令和6年4月～令和6年6月

疾患：慢性硬膜下血腫手術、高血圧、便秘症、両変形性膝関節症、腰痛、大動脈弁狭窄症、急性胆嚢炎、経皮経管肝胆嚢ドレナージ術後、肝細胞癌末期、多発肝転移、完全房室ブロック（ペースメーカー留置術後）、狭心症

経過：上記疾患にて医療依存度の高い方であることから当事業所の利用となる。肝硬変か心不全の為か、腹水貯留や全身浮腫は著明。ターミナルケアによるお泊り利用。ご家族は遠方にお住まいで独居にて生活。市内には姉妹や親戚の方もおり何かの時は協力を得られる環境。

内 容

以前、利用していた施設では病状の進行により介助を要する事が増え医療的ケアもあることからご自宅での生活も困難となり、令和6年4月より当事業所の利用開始となりました。利用当初は、食事摂取量も少なく日常生活においてほぼ全介助でした。体調も安定しておらず医療的な処置もありほぼベッド上での生活でしたが、入浴後のアロママッサージケアを継続的に実施したことで、体調が安定し体力的にも問題がない時には離床し車椅子で過ごす時間が増えました。食事も皆さんと一緒に楽しめるよう環境調整して対応していました。少しずつではありますが環境にも慣れてきてスタッフや他ご利用者との交流も見られるようになり、会話の中で「どこか行きたい所はありませんか?」との問いに対して「お墓参りに行きたい」との発言が聞かれました。ご家族は遠方の為、中々面会に来ることが難しい状況ではありましたが、市内には親戚やご姉妹もおり協力的に対応して頂ける環境にありました。余命が限られている中で、少しでもご本人のご希望が叶えられないかと思ひ可能なことについては、実現できるようサポートする体制を検討しました。面会に来て下さる親戚の方やご姉妹の方にもご本人の気持ちや思いを伝え、希望が叶えられるようご協力をお願いしました。ご本人の気持ちに共感して頂くことができ日程を調整。施設からは看護師とケアマネジャーが引率することで、安全に安心して外出ができるよう環境を整えました。お墓参りの当日は体調も良くとても楽しみにしていたと喜ばれていました。天候にも恵まれ絵に描いたような素晴らしい晴れの日となりました。ご実家のお墓参りは数十年ぶりとお話があり、とても感慨深いご様子でした。ご実家は東日本大震災により、現在では別の場所に移られ、お墓の場所も以前とは違う所にありました。新しく立派なお墓を見て色々な気持ちになったようです。お墓参りに向かう道中でも道路や景色が当時とはだいぶ違うとお話されていました。お墓参りから戻られて感想を伺うと「行けば嬉しい」とのお言葉が聞かれました。ご利用者がずっと心に思っていたことが実現できたことが、私達にとっても

とても嬉しく喜びとなりました。今度、叶えたいことはありますかとの質問に「散歩」に行きたいと教えて下さいました。4月に登録となってから6月にご逝去されるまで、ご利用者が自分らしく最後を迎えられるようにサポート、ケアをするよう心がけ身体的・精神的ケアを継続的に実施してきました。最期は皆さんに見守られながら穏やかな表情でした。今回、ご利用者の希望を叶えられように取り組みを行ったなかで、ご利用者皆さんに同じように夢や希望が叶えられるようサポートをしていけたらと強く思いました。今後も愛情を持った親身な対応を心がけながら、日々ケアサポートをしていきたいと思えます。